

新幹線プレス 	2024年10月1日	No.683
	発行者	伊藤一也
	編集者	教宣部
JR東海労新幹線地本		

〈良くする会怪文書への感想〉

気持ち悪い・何言ってるかわからない・ 見ないで捨てた

組合員の自宅に届いている「東海労を良くする会」と称する怪文書について多くの組合員から感想が寄せられています。怪文書の必死の東海労非難にもかかわらず、怪文書の内容について「評価する」「賛同する」という声は一つも上がっていません。

あがっているのは、

「中を見ないで捨てた」

「読んでみたが気持ち悪いから捨てた」

「読んだが何言ってるのかわからない」

などという声です。

そして多くの組合員が手紙を地本に提出してくれました。

不思議なこと

一つ不思議なのは、怪文書は組合員の多くに届いているのに、OBで届いているのはOB会南波事務長一人だけだということです。

また、組合員に届いているのは9月19日午前中に届いているにもかかわらず南波事務長だけが19日以前に届いていることです。

地本としては怪文書の実態解明のために南波事務長にも封筒と文書の提出をお願いしましたが「協力できない」と断られました。またその後は封筒も手紙も「捨ててしまった」といっています。とても不可解です。

地本は怪文書による組織破壊を許さないため、さらに実態解明の調査を続けます。